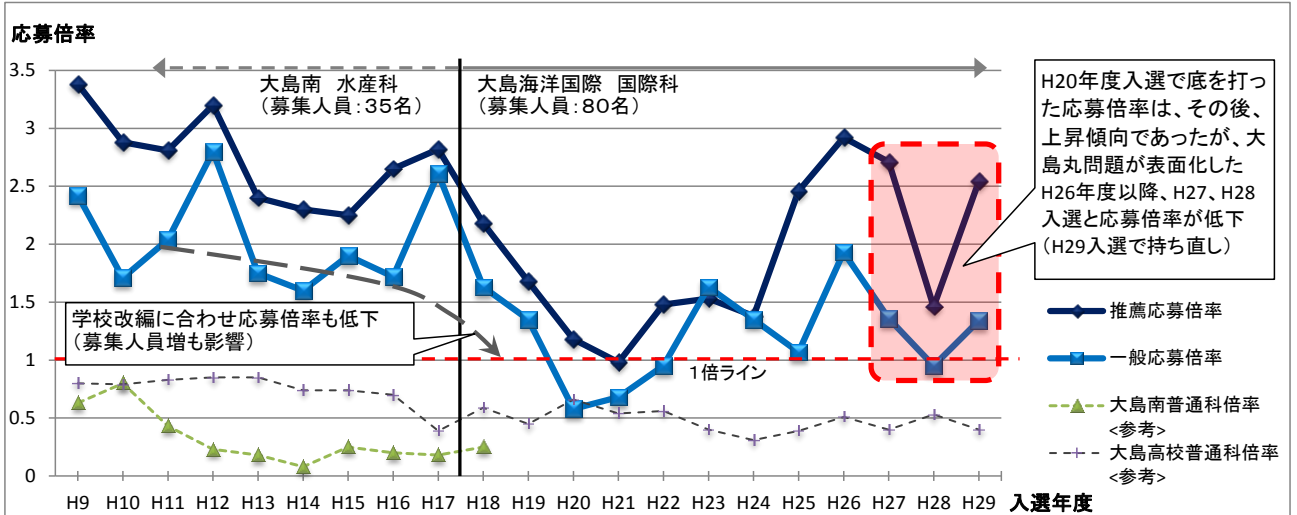


資料3-3

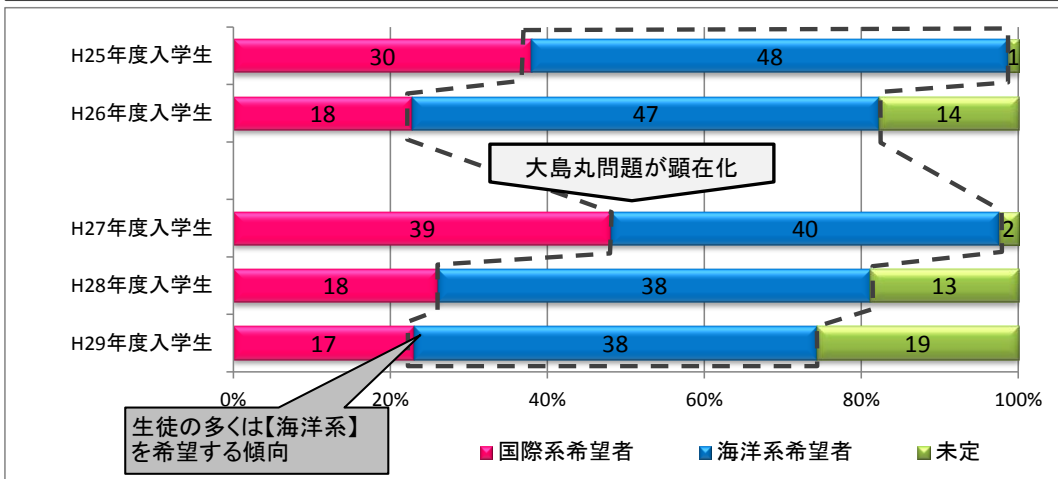
1、応募倍率の推移(学科改編と大島丸問題との関連)

- 学科改編の影響により倍率が低下
- 改編4年後から倍率が回復、上昇傾向となるが、大島丸問題の顕在化とともに倍率が低下



2、第一学年時点での類型希望調査結果(人数) <参考>

- 入学した生徒は、海洋系を希望する傾向が強い
- 大島丸問題が顕在化した翌年に入学した生徒は海洋系と国際系が半々(その後、海洋系人気回復)



3、系列別の卒業後進路状況推移(進路決定者のみ)

- 国際系の生徒は、学びと関係の薄い進路を選択する傾向(海洋系の進路を選択する生徒も存在)
- 大島丸問題に関わらず、海洋系の生徒は、海洋系の進路を強く志向する傾向

